

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

# サロベツ湿原だより 10月号

今のおすすめは「オオヒシクイ」です



ラムサール条約湿地であるサロベツは、渡り鳥の重要な中継地にもなっています。ロシアと日本を行き来する様々な渡り鳥が飛来する貴重なエリアで、秋には国の天然記念物であるオオヒシクイが多くやってきます。例年8千羽以上飛来し、編隊を組んで上空を飛びかう姿は圧巻です。サロベツには休息の為に1ヶ月程滞在し、昼間は牧草地や三日月湖などで過ごす姿が見られます。羽を休めながら栄養を蓄えた後、本州へと旅立ちます。

## 【サロベツで見られる渡り鳥たち】



オオヒシクイ(左)とハクガン(右)



カリガネ(左)とマガン(右)



シジュウカラガン



タンチョウ

これからは、「草紅葉(くさもみじ)」の季節です



湿原の植物が紅葉し黄金色になる草紅葉は、夕日に照らされるとさらに色濃く染め上がり、映画「風の谷のナウシカ」のラストシーンのような素晴らしい光景です。(フェルト作品は、地元豊富町在住の作家・カマイモデルズさん作です。)

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね！